

2024年4月1日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

サステナビリティ推進体制の強化について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 椋梨 敬介、以下「当社」）は、当社グループの持続的成長と地域価値向上に向けた取り組みを加速させていくため、下記のとおりサステナビリティ推進体制を強化しますので、お知らせいたします。

記

1. 「サステナビリティ推進室」の新設

当社は、サステナビリティ推進に関する企画・統括を担う専門部署として、企画統括本部管下の総合企画部に「サステナビリティ推進室」を新設いたしました。今後は「サステナビリティ推進室」の統括のもと、当社グループのサステナビリティ戦略の高度化を図り、取り組みを強化してまいります。

2. サステナビリティ推進委員会における「アドバイザリーボード」の設置、外部有識者の招聘

（1）「アドバイザリーボード」の設置

当社は、2022年4月にサステナビリティ推進委員会*を設置し、サステナビリティ経営の推進に努めてまいりました。今般、外部有識者の持つ幅広い知見を活用することにより、当社グループのサステナビリティ戦略の高度化を図ることを目的に、サステナビリティ推進委員会の諮問機関として「アドバイザリーボード」を設置いたしました。今後はサステナビリティ経営における重要なテーマについて、「アドバイザリーボード」を通じた諮問・意見交換を実施してまいります。

*当社では、代表取締役社長CEOを委員長とするサステナビリティ推進委員会において、気候変動を含むサステナビリティ関連事項の審議および進捗管理を一元的に行っております。また、サステナビリティ推進委員会における審議内容は、適宜グループ経営執行会議での議論を経て取締役会へ付議されており、気候変動を含めたサステナビリティに関する取り組みを取締役会が監督する体制としています。

(2) 外部有識者の招聘

「アドバイザーボード」の設置に際し、ボードメンバーとなる外部有識者として、サステナビリティ経営の第一人者である夫馬賢治（ふま けんじ）氏を招聘いたしました。夫馬氏の参画により、当社グループにおけるサステナビリティ推進活動をさらに強化してまいります。

<外部有識者紹介>



夫馬 賢治 氏

- ・株式会社ニューラル 代表取締役CEO
- ・信州大学グリーン社会協創機構 特任教授
- ・ニュースサイト「Sustainable Japan」編集長

経歴：ハーバード大学大学院リベラルアーツ（サステナビリティ専攻）修士。サンダーボードグローバル経営大学院MBA。東京大学教養学部（国際関係論専攻）卒。

サステナビリティ経営・ESG投資アドバイザー会社を2013年に創業し現職。東証プライム上場企業や大手金融機関をクライアントに持つ一方、スタートアップ企業やベンチャーキャピタルの顧問も多数務める。環境省、農林水産省、厚生労働省のESG分野有識者委員。世界銀行や国連大学等でESG投資、サステナビリティ経営、気候変動金融リスクに関する講演や、国内外のメディアからの取材実績も多数。

<夫馬氏コメント>

環境や社会に関するサステナビリティ課題の認識が政府及び企業の中で広がる中、地域金融機関に期待される役割は大きく拡大しています。また地域金融機関自身にとっても、事業基盤となる地域経済そのものを存続、拡大していくことが、事業を存続させる不可欠な要素になっています。山口フィナンシャルグループが、地域そして日本のESG地域金融をリードしていくことを期待しています。

3. 組織図、サステナビリティ推進体制図（2024年4月1日～）

上記1および2における体制強化後の組織図、サステナビリティ推進体制図は別紙のとおりです。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

山口フィナンシャルグループ 総合企画部

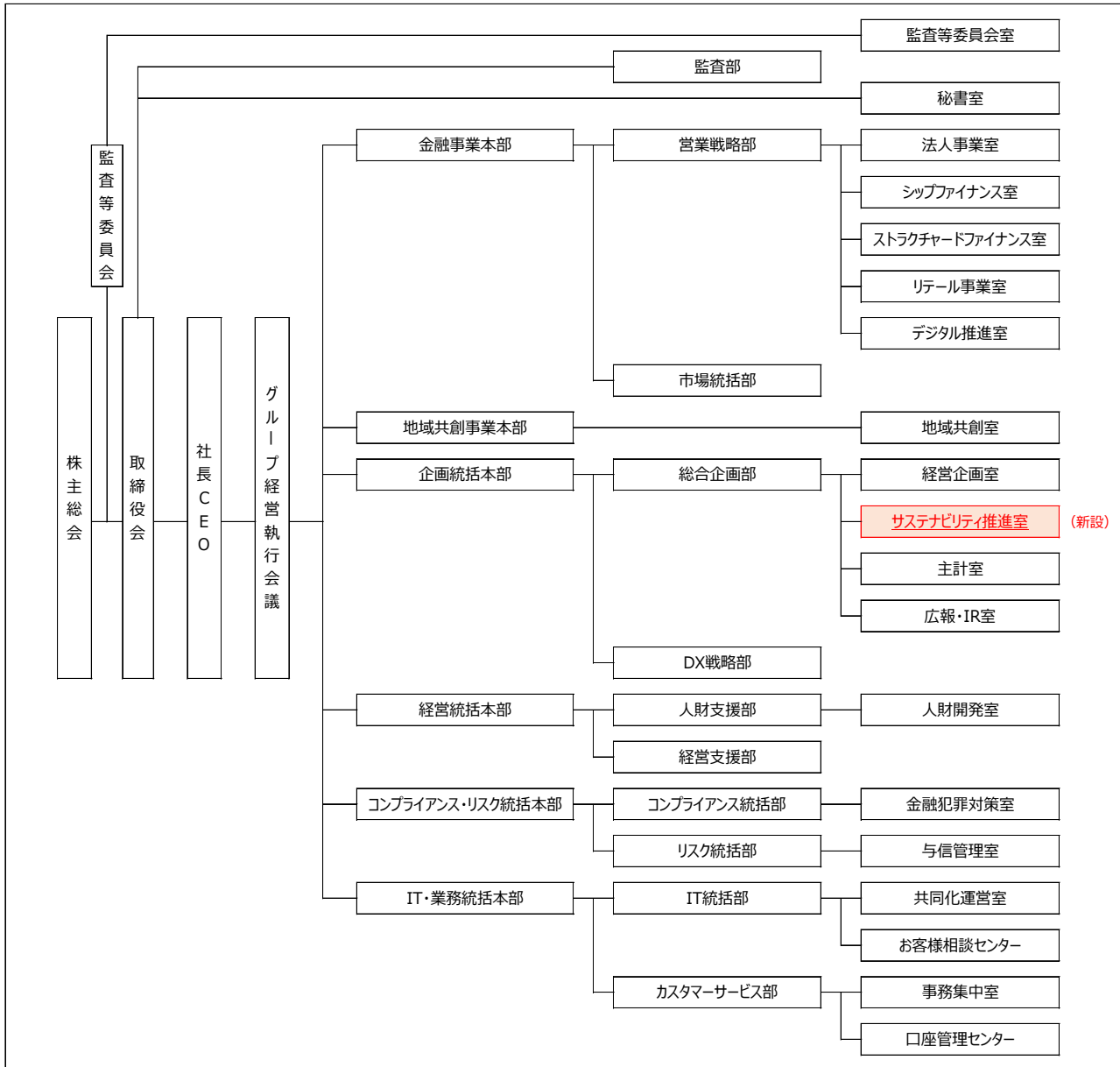
サステナビリティ推進室

担当：高瀬 TEL 070-1297-4636

東風浦 TEL 080-4779-6862

別紙

<山口フィナンシャルグループ組織図>



<サステナビリティ推進体制図>

